

令和8年度 環境関連施策について

環境市民部 環境政策課

目次

リーディングプロジェクト関係分

- 1 未来のために今変える ライフスタイル転換プロジェクト …………… 1
- 2 未来のために今挑む 脱炭素推進プロジェクト …………… 4
- 3 未来のために今学ぶ 環境学び創造プロジェクト …………… 6

リーディングプロジェクト関係分

1 未来のために今変える ライフスタイル転換プロジェクト

地球温暖化対策をはじめ、自然敬愛都市や循環型社会の実現を進めていくためには、市民の一人ひとりが環境問題を我が事として捉え、考え行動に移すことが重要となります。

そのため、市民の自発的な行動を促進するための支援を行い、市民の誰もが、日頃から環境に配慮した「賢い選択」や「無駄なものを発生させない行動」等を率先して行うライフスタイルへの転換を促進していきます。

●市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン【継続】 予算額 なし

毎月月末金曜日にバス運賃を半額にするキャンペーンを実施し、移動にかかる脱炭素化と公共交通の利用促進を図ります。

〈キャンペーン概要〉

対象者：市内事業所等（企業・団体等）に通勤しているマイカー利用者及び希望者

実施日：毎月月末金曜日（5月～）

内 容：実施日に市が指定する参加登録証を提示すると、対象となる路線が通常運賃の半額で利用可能

実施方法：①事前に環境政策課へ参加登録を行う。

②登録後、参加登録証を配布する。

③対象バスから降車する際に参加登録証を提示し、半額分の運賃を運賃箱に投入する。

協力事業者：防長バス（防長交通株式会社）

ひかりぐるりんバス・広域生活交通（周南近鉄タクシー株式会社）

光市営バス（有限会社大和タクシー）

●省エネ活動推進キャンペーン【継続】 予算額 なし

家庭において、対前年同期での電気使用量の削減と各種エコ活動に取り組むキャンペーンを実施し、日頃からの省エネ行動やエコ活動の定着を図ります。

〈キャンペーン概要〉

対 象：光市内の世帯（事前エントリー）

取組期間：〈夏季〉6月の1か月間 〈冬季〉12月の1か月間

取組内容：①省エネ活動

前年同期と比較して電気使用量の削減に取り組む

②エコ活動

エコドライブ、雑紙回収、宅配物を1回で受け取る、ウォームシェアなどの項目から3項目以上の活動に取り組む

参加特典：成績上位10世帯を含む30世帯に、地域活性化包括連携協定を締結している株式会社丸久の協力のもと、合計4万8千円分の商品券を贈呈

※商品券の購入にかかる費用等は地球温暖化対策地域協議会の予算で対応

●ライトダウンキャンペーン【継続】 予算額 なし

山口県では「2050ゼロカーボン・チャレンジ～ぶちエコやまぐち県民運動～」の一環としてライトダウンキャンペーンを実施しています。この取組に合わせ、ライトダウン（消灯）を呼びかけ、家庭や企業での日常的な省エネ活動につなげます。

〈キャンペーン概要〉

対 象：市民及び市内事業所

取組期間：12月の1か月間 20時～22時

取組内容：①家庭での取組例

電気やテレビを消して、ろうそくやランタンの明かりの中、家族で会話を楽しむ

②事業所での取組例

夜間の野外照明施設の消灯や室内の不要な電気の消灯

従業員に対して、職場や家庭での不要な電気の消灯の呼びかけ

●家庭用生ごみ処理機等購入費補助金【継続】 予算額 200千円

家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化を推進するため、家庭用生ごみ処理機等の購入費を支援します。

〈対象となる機器〉

| 対象機器 | 補助額（円） | 要 件 |
|----------|----------------|--|
| 電動生ごみ処理機 | 1/2（上限：20,000） | 市内に住所を有し、市内の販売店で購入したもの 対象基数は、1年度で1基まで |
| コンポスト容器 | 1/2（上限：2,000） | |

※算出した補助金の額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

●資源回収奨励金【継続】 予算額 1,150千円

家庭から排出される再生可能な資源を回収する、自治会や子ども会、PTAなどの市民団体に対し、引き続き支援し、ごみの減量、生活環境の保全及び資源の有効利用を図ります。

〈団体への奨励金〉

| | |
|------|--------------------------------------|
| 奨励金 | 2円/kg（雑がみ類は5円/kg） |
| 対象品目 | 紙類（新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック）、雑がみ類、布類、金属類、ビン類 |

●食品ロスの削減【継続】 予算額 なし

まだ食べられるのに捨てられている食品を集めて、必要としている施設や人へ届けるフードバンク活動の取組みについて周知啓発し、食品ロスの削減を図ります。

〈フードバンクポスト設置場所〉

- ・アルク光店、光井店
- ・イオン光店
- ・ここと島田店
- ・里の厨
- ・マックスバリュ浅江店、室積店
- ・マルキュウ浅江店、岩田店
- ・みちがみ病院
- ・Honda cars 光東光店
- ・ジモティースポット光店

2 未来のために今挑む 脱炭素推進プロジェクト

再生可能エネルギーや環境に配慮した製品等の導入促進を図り、全市を挙げて温室効果ガス排出削減の取組を進めるとともに、森林の保全や木材の活用など、二酸化炭素の吸収源対策を推進します。

また、地域の一事業所として、市が率先して脱炭素化に取り組むことで、市域全体の温室効果ガス排出削減に寄与していきます。

●公共施設等LED化推進事業【継続】 予算額 31,000千円

公共施設の室内灯及び屋外灯（街路灯、公園灯及び漁港照明）のLED照明への一斉切替（10年間のリース）を行い、脱炭素化を実現します。

〈事業概要〉

- ・対象施設等：公共施設 39施設（コミュニティセンター等） 7,767灯
屋外灯 283灯（道路照明、公園灯等）
- ・総灯数：8,050灯
- ・事業期間：令和6年度から令和16年度

●家庭用LED照明買替サポート補助金【継続】

（旧エコスタイルサポート補助金） 予算額 10,000千円

市内の家庭生活において、CO₂削減効果の高いLED照明設備への導入を支援し、家庭の脱炭素化を促進します。

〈対象となる省エネ設備〉

| 対象設備 | 補助額（円） | 要件 |
|---------|---|----------------|
| LED照明設備 | LED：10,000/基 （設備購入費用の1/2、最大5基50,000） ※補助申請は1回のみ | 既存家屋 市内業者限定 |

●地球温暖化対策地域協議会交付金【継続】

予算額 100 千円

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき設置された、市民・事業者・市が協働で地域の地球温暖化対策に取り組む「光市地球温暖化対策地域協議会（愛称：ひかりエコシティ・ネットワーク）」の運営を支援し、市民の環境意識の向上と地域の温室効果ガスの削減を目指します。

〈主な事業〉

- ・省エネ活動推進キャンペーン（市との協働事業）
- ・ノーマイカー運動
- ・ライトダウンキャンペーン（市との協働事業）
- ・エコスタイルセミナー（市との協働事業）
- ・ひかりエコスタイル推進事業
- ・協議会PR活動（イベント出展など）
- ・その他（会報発行等）

3 未来のために今学ば 環境学び創造プロジェクト

次代を担う子どもたちの自然を敬う心を育むとともに、地球温暖化や循環型社会などについて学び、考え、一人ひとりが問題の解決に向け率先して行動していけるよう、小学生、中学生、高校生に対する環境学習を推進します。

また、新しい生活様式に対応したICT機器等を活用した学習方法等の開発や、世代に応じた自然体験学習や環境学習の場の創出に努めます。

●ひかりエコくらぶ【継続】 予算額 55千円

豊かな自然の中で遊びを通じた自然体験学習会を開催し、自然とふれあうとともに、その恵みに感謝し、継承していくことの大切さを学習する機会を創出します。

〈概要〉

- ・対象者：市内小学校に通う児童
- ・実施回数：2回（秋、冬を予定）
- ・募集人数：各回 25人

| フィールド | 講師 | 内容（仮） |
|---------|------|--|
| 周防の森ロッジ | 市内講師 | ・落ち葉でアート作品制作 ・木の実を使ってゲーム体験 ・スイートカートンドッグ作り ※森林環境税等充当対象メニュー |
| | | ・島田川で石ころ遊び ・焼き芋作り |

※スイートカートンドッグ：牛乳パックを使って作る甘いホットドッグ

●ひかりエコスタイル推進事業【継続】 予算額 68千円

希望する小学校に対し、次代を担う子どもたちが地球温暖化等について学び、考え、一人ひとりが率先して行動していけるよう、環境に配慮した行動例等を記載した「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」を活用した授業を実施する。

●ひかり環境未来塾【継続】 予算額 55 千円

市内中学校及び高校を対象に、学校の指導だけでは知り得ない企業の環境に配慮した取組や環境問題の現状などについて、出前授業形式で学習する機会を創出します。

〈学習メニュー及び講師〉

| 区分 | 学習メニュー | 講師 |
|----|--|--|
| 継続 | 水素エネルギーってなんだろう | 株式会社トクヤマ |
| 継続 | 電気が届くしくみ ～自宅までのみちのり～ | 中国電力ネットワーク株式会社 |
| 継続 | 地球温暖化と私たちの暮らし | 大森一世氏 (環境カウンセラー) |
| 継続 | ① 食品ロスの真実 なぜ、私たちの行動が地球に影響を与えるのか？ ② 買い物で世界を変えよう！エシカル消費入門 | 今村主税氏 (山口県立大学国際文化学部情報社会学科准教授) |
| 継続 | ① 世界の自然環境と私たちの暮らし ② 生態系と生物多様性について | 井上 桂氏 (株式会社F E E L(未来環境教育研究所)代表取締役) |

●エコスタイルセミナー【継続】 予算額 なし

環境問題に関する知識や理解を深める場を提供するため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で、市民を対象としたセミナーを2回開催します。

●光の海的环境学習【新規】 予算額 15 千円

光市地産地消プランに掲げるSDGsチャレンジ「光の海の体験プロジェクト」として、光の海を体験する「地引網体験」に併せ、環境学習を行い自然環境の保全に対する意識の醸成を図ります。